

競 技 上 の 注 意

1 競技について

- (1) コート割り及び進行は別表のとおりとする。ただし、本部の判断で変更することがあるので、本部からの連絡や「Web 進行表」に十分注意すること。
- (2) 集合時刻（及びオーダー提出時刻）の基準となる「試合が終了した時刻」、「対戦ペア・対戦チームの確定した時刻」とは、正審がコート主任席でスコアシートに記載した終了時刻とする。
- (3) 番号の小さい方のチーム（ペア）のベンチを、審判台から見て左側とする。
- (4) トスは全てコイントスとする。
- (5) マッチ開始前の練習は1分以内とする。
- (6) 給水は、各ゲームの終了時、およびファイナルゲーム中のチェンジサイズ時に認める。4－（2）の助言が認められている時間はベンチ付近で、それ以外は審判台の付近で給水する。審判台の付近での給水の場合、給水容器等はあらかじめ選手が自分で審判台の下に置いておく。また、審判台付近での給水は、隣のコートの試合の妨げにならないよう給水のみを速やかに行い、打ち合わせなどはしない。
- (7) ファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に3分間の休憩と助言を許可する。なお、練習は認めない。（本大会適用ルール）
- (8) 相手のタイム時は、自陣での試合球（1球）を使った練習を認める。

2 個人戦について

- (1) 選手・ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）【以下「ベンチ入り指導者」という。】は以下に示す集合時刻までに、試合を行うコートのベンチに待機する。試合の集合時刻は「Web 進行表」に掲載する。

月日（曜日）	試合順	集合時刻
8月21日（金）	第1試合	9時40分
	第2試合以降	○対戦ペアが決まっている場合 一つ前の試合が終わり、コートが空いてから10分以内 ○対戦ペアが決まっていない場合 対戦ペアが決まってから20分以内
8月22日（土）	第1試合（準決勝）	8時25分
	第2試合（決勝）	対戦ペアが確定してから20分以内

3 団体戦について

- (1) 3ペアの点取り対抗戦とし、2点を先取したチームを勝者とする。ただし、各チームの初戦が終わるまでは3対戦とも行う。以降の試合は2点先取とする。
- (2) オーダー票の提出は、以下に示す時刻までに監督またはコーチが「オーダー受付」に提出する。選手・ベンチ入り指導者は以下に示す集合時刻までに試合を行うコートのベンチに待機する。試合の集合時刻は「Web 進行表」に掲載する。

月日（曜日）	試合順	オーダー票の受付時刻	集合時刻
8月22日（土）	第1試合（1回戦）	11時30分	11時55分
	第2試合（1回戦）	11時30分～12時00分	一つ前の試合（2面展開）の一方のコートが空いてから10分以内
	第3試合（1・2回戦）	対戦チームが確定してから15分以内	
8月23日（日）	第1試合（準々決勝）	8時30分	8時55分
	第2試合（準決勝）以降	対戦チームが確定してから15分以内	一つ前の試合が終わりコートが空いてから25分以内

- (3) コートに入ったらすぐ挨拶すること。円陣などは禁止する。また、挨拶後は速やかに試合を行うこと。
- (4) サービス（レシーブ）とサイドの決定は、コートで各マッチの開始時に行う。
- (5) 試合をしていない選手はベンチに座る。次の試合の選手がベンチから離れてコートの後ろなどでアップすることは認めるが、ラケット・ボールなどは使用せず、試合の妨げにならないように行うこと。また、その選手たちは応援しないこと。
- (6) 熱中症対策として、自分の試合が終わった選手はコート外での待機を認められる場合がある。その際は、コート主任の許可を得てから行うこと。ただし、一度コート外に出た場合は、団体戦終了の挨拶まではコート内に戻ることはできない。

4 ベンチ入り指導者について

- (1) 個人戦・団体戦ともにベンチ入り指導者1名のベンチ入りを認める。
 - 団体戦を2面同時展開で行う場合は、ベンチ入り指導者は中央のベンチを使用する。また、1試合が残った時点でそのマッチが行われているコートのベンチを使用すること。
 - 個人戦で2ペア以上出場し、同時にマッチが行われている場合は、ベンチ入り指導者は、試合をするコートに集合しなくてもよい。その場合、途中からのベンチ入りを認める。（ベンチ入り指導者が遅れてコートに入る際は、必ずコート主任の許可を得ること。）また、ベンチ入り指導者はベンチを移動して助言することができる。ただし、一度離れたベンチに再び戻ることはできない。なお、選手はプレーしているコートを離れて助言を聞くことはできない。
- (2) マッチ中に選手に助言する場合は、サイドのチェンジおよびファイナルゲームに入る前のインターバルの3分以内（ヒートルール適用のため）とし、ベンチ入り指導者が所定のベンチで行う。なお、それ以外の監督・コーチおよび応援者による指示（ブロックサイン等を含む）は禁止する。
- (3) ベンチ入り指導者はベンチから立たない。選手を座らせてアドバイスをする場合も、ベンチ入り指導者はベンチに座って行うか、ベンチの前に腰を下ろした状態で行う。

5 応援・かけ声について

- (1) 個人戦の応援は、声や拍手などリズムをそろえての応援（いわゆる壁応援）は行わない。
- (2) 団体戦の応援は、声や拍手などリズムをそろえての応援（いわゆる壁応援）を認める。
- (3) 以下のような行為があった場合、選手・ベンチ入り指導者は「警告」の対象、応援団は「注意の喚起（または退場）」の対象となる。
 - 過度のかけ声、相手を不快にさせる発声、威圧的な発声や動作（相手に向かってのガッツポーズなど）など。また、アンパイヤーのコールを妨げたり、プレーやマッチの進行に支障をおよぼしたりするような行為。
 - ベンチ・応援団からの助言（次のプレーに関わる内容の指示・かけ声） ※ブロックサインを含む。
- (4) 音の出る道具を使用しての応援は行わない。（うちわを使って音を出す場合は、音の出る道具と見なす。）
- (5) ベンチ後方の応援スペースは、試合を行うチーム関係者が優先して使用できる。そのため、荷物を置いたままにしたり、常時占有したりするなど、待機場所として使用しない。

6 ルール適用上の注意

- (1) 集合時刻になっても選手が集合しない場合、5分後に「警告」、さらに5分後に2回目の「警告」、それでも集まらない場合は、その5分後にレフェリー判断で「失格」とする。団体戦の場合、警告回数は第1マッチのペアに累積する。時刻は日本標準時（各携帯電話等で確認できる時刻）を基準とする。
- (2) 身体上の理由によりマッチを中断する場合は、ベンチ入り指導者、及びベンチ外からのチームトレーナ

一等1名の入場や手当を認める。その際、マッチを中断した時点からタイムとして計測する。また、ベンチ外からのチームトレーナー等の入場や医療用具等の持ち込みは、コート主任の許可が必要となる。救護係等の入場は、大会本部が決定する。救急隊員等による救急搬送が必要であると判断された場合は、複数のコートで試合を止める場合がある。

- (3) マッチは開始の挨拶から終了まで、連続的にプレーすること。審判の「レディ」「レッツプレー」のコールがかかったら速やかにプレーの位置につくこと。以下の例の場合については、警告の対象となる。

例①：相手の準備が整っている状態で、ペアと打合せをする。

例②：タイムの許可をとらないで靴紐を結び直すなど、プレーの中断をする。また、流れを変えるために靴の紐を縛り直すなど。

- (4) チェンジサイズ時やファイナルゲーム前は、前のゲーム終了時のコールから1分以内に次のゲームの準備ができるようにすること。45秒でコート主任のブザーがなる。60秒で2度目のブザーと「レッツプレー」がかかる。ただし、ヒートルール適用時のファイナルゲーム前は、前のゲーム終了のコールから3分以内に次のゲームの準備ができるようにすること。2分45秒でコート主任のブザーがなる。3分で2度目のブザーと「レッツプレー」がかかる。2度目のブザーと「レッツプレー」で、移動するそぶりがないければ「警告」の対象とする。

- (5) コート外からの声掛けや日傘をさしたり、扇風機で風を送ったりするなどの援助は「警告」の対象とする。

7 その他

- (1) コート内へのクーラーボックスの持ち込みを認める。
- (2) マッチ中、コート内で通信機器等（スマートウォッチ等を含む）や、電気機器（充電式・バッテリー駆動を含む）を使用することはできない。
- (3) ベンチ入り指導者及び選手の傘（日傘を含む）のコート内での使用を認める。ただし、傘の色は、日光などを反射して試合に支障をきたす恐れがあるもの（白・銀色等）は認めない。（コート外の応援者・観戦者も、これに準ずる）
- (4) 競技中のフラッシュ撮影は禁止する。
- (5) 部旗や応援横断幕等の掲出は、スペースの関係で行わない。
- (6) やむを得ず外部からベンチ内にものを渡す際は、コート主任の許可を得てから行うこと。

<コート集合について>

- (1) 本大会は個人戦、団体戦ともすべて試合をするコートに集合する。その際、コートへの出入りは指定の出入口を必ず使用し、他のコートの試合の妨げにならないよう十分注意すること。
- (2) 両ペア（チーム）がコートに集合しており、試合をする準備が整っていれば、双方の合意のもと集合時刻前でも試合を開始する場合がある。
- (3) 試合終了後、退場のみ正審と副審で誘導するので、その指示に従うこと。
- (4) コートに集合する際には、原則選手とベンチ入り指導者がそろった状態で集合すること。なお、個人戦において複数ペアが出場している場合は、4-(1)に準じる。
- (5) コートに集合後、選手とベンチ入り指導者の服装や持ち物、IDカード等の確認を行う。その際、不備があった場合は警告の対象となるため、十分に注意すること。